

まじい

坂井市議会
PRマガジン

Topics

- ・ 代表質問8-10
- ・ 議会との意見交換会を希望する
団体を募集しています 11
- ・ 一般質問 12-18
etc

6月定例会

坂井市

第65号

2022.9

市議会の構成

特別委員会

特定の問題を審査または調査するため、必要に応じて設置される委員会です。

地域公共交通対策特別委員会

交通弱者対応および交通網整備による地域活性化に向けて、二次交通促進による市内交流人口や観光利用者の増加、地域活性化に関する協議（意見交換）・提言などについて調査研究します。

- 委員長 古屋 信二 副委員長 鍋嶋 邦広
委員 廣瀬 陽子、佐藤 寛治、伊藤 聖一、辻 人志、川畑 孝治、畑野 麻美子

DX推進特別委員会

進化し続けるテクノロジーを活用し、暮らしを支えるさまざまな最先端サービスを社会に実装し、市民が豊かに安心して暮らすことができるより良い未来社会の実現、および行政業務の効率化について調査研究します。

- 委員長 戸板 進 副委員長 林 豊夏
委員 山田 秀樹、三宅 小百合、後藤 寿和、渡辺 竜彦、田中 哲治、永井 純一

観光戦略特別委員会

アフターコロナや北陸新幹線の県内開業を見据えた観光客誘致、および広域観光の促進など観光政策に関わる戦略や、観光資源の維持・活用、新たな観光資源の発掘や創出について調査研究します。

- 委員長 広瀬 潤一 副委員長 岡部 恭典
委員 佐藤 岳之、伊藤 宏実、前川 徹、上坂 健司、松本 朗、前田 嘉彦

予算特別委員会

- 委員長 古屋 信二 副委員長 戸板 進 委員 議長を除く全議員

議会広報編集委員会

- 委員長 渡辺 竜彦 副委員長 三宅 小百合
委員 林 豊夏、廣瀬 陽子、伊藤 宏実、前川 徹、田中 哲治

議会報告委員会

- 委員長 辻 人志 副委員長 畑野 麻美子
委員 鍋嶋 邦広、岡部 恭典、渡辺 竜彦、田中 哲治

※令和4年5月30日の臨時議会にて、松本 朗議員が総務常任委員会委員に選任されました。

令和3年度 政務活動費の会派収支について報告します

政務活動費とは…

- ・議員の調査研究その他の活動に資するため必要な費用の一部として、議会における会派（所属議員が1人の場合も含む）に対して交付されるもので、会派の所属議員数に月額50,000円をかけた金額が交付されます。
- ・収支内容は、毎年度議長に報告し、残額がある場合は市に返還することになっています。
- ・年度の途中に会派の解散、所属人数に変更があった場合は、交付額が調整されます。

《令和3年4月～令和4年3月》

(単位:円)

科目	会派名	志政会	政和会	政友会	創志会	日本共産党議員団	公明党	政立会	合計
	12名(4月~9月) 4名(10月~3月)	6名	4名	7名(10月~3月)	2名	1名	1名	26名(4月~9月) 25名(10月~3月)	
収入	政務活動費	4,800,000	3,600,000	2,400,000	2,100,000	1,200,000	600,000	600,000	15,300,000
	預金利子	21	14	11	4	5	3	3	61
	合計	4,800,021	3,600,014	2,400,011	2,100,004	1,200,005	600,003	600,003	15,300,061
支出	調査研究費	0	0	0	18,240	0	0	0	18,240
	研修費	0	0	0	0	0	0	0	0
	広報費	553,745	449,944	373,736	0	726,325	0	0	2,103,750
	広聴費	0	0	0	0	279,551	0	0	279,551
	要望・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	427,975	353,431	38,104	140,652	55,491	0	0	1,015,653
	資料購入費	278,342	60,110	0	0	23,216	0	0	361,668
	人件費	146,010	0	0	34,410	0	0	0	180,420
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務費	31,680	23,760	15,840	13,860	7,920	3,960	3,960	100,980
その他の経費	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	1,437,752	887,245	427,680	207,162	1,092,503	3,960	3,960	4,060,262	
残 額	3,362,269	2,712,769	1,972,331	1,892,842	107,502	596,043	596,043	11,239,799	
返還額	政務活動費	3,362,248	2,712,755	1,972,320	1,892,838	107,497	596,040	596,040	11,239,738
	預金利子	21	14	11	4	5	3	3	61

政務活動費の主な使途事項

- 調査研究費 会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究(視察を含む)及び調査委託に要する経費
- 研修費 ①会派が研修会、講演会等を開催(共同開催を含む)するために要する経費
②団体等が開催する研修会(視察を含む)、講演会等への参加に要する経費
- 広報費 会派が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費
- 広聴費 会派が行う住民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
- 要望・陳情活動費 会派が要望、陳情活動を行うために必要な経費
- 資料作成費 会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
- 資料購入費 会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
- 人件費 会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費
- 事務費 会派が行う活動に係る事務の遂行に要する経費

総務常任委員会報告



主な質疑内容

総務部

問 市長が市民の声を聴く「さかい未来創造座談会」の実施方法は。募集はするのか。

答 23地区のまちづくり協議会を中心に順次開催し、さらに商工業者、農業者、女性、PTAなど各種団体とも開催していきたい。

募集ではなく、市が主体となって団体などに声掛けをしていくスタイルを想定している。

問 同性婚などLGBTQ当事者の権利保障を進めていくための検討状況は。

答 職員や関係団体などに対し研修会を実施しており、LGBTQパートナーシップ制度の導入については、県の取り組みを踏まえ、先進自治体の課題などを確認しながら方向性を見極めていきたい。

総合政策部

問 アプリを活用した行政配布文書のデジタル化は、紙での配付を希望する人もいるため、逆に煩雑になり区長の負担にならないか。

答 令和5年1月に新しい区長を通じて、各世帯が電子か紙かの希望調査を実施したい。文書を配付する手間が省けるため、将来的には簡素化につながっていくと考える。

問 ※DX推進対策本部の体制と事業計画は。

答 市長を本部長、副市長、教育長を副本部長、各部の部長を本部員として組織する。DXに対する理解と意識改革のため、全職員に対して研修会を実施する。

防災や子育ての情報など市民が必要とする情報をより確実に知らせるための仕組みづくり、行政手続きのオンライン化による、書かなくてよい窓口、行かなくてよい窓口を目標に進めていきたい。

財務部

問 市民の個人情報を含む業務委託は何件あるのか。その管理体制は。

答 個人情報を含む業務委託は約300件ある。受託者に対しては、坂井市個人情報保護条例の規定に基づき、発注担当課が委託内容の履行確認や監督指導を行っている。

問 相続放棄した土地の管理責任者は誰か。また、固定資産税の取り扱いはどのようになっているのか。

答 次の順位の相続者に管理責任があり、全員が放棄した場合でも、民法の規定により自己の財産と同じように管理しなければならない。

固定資産税は、相続放棄した者以外の相続人に納税通知書を送付し、相続財産管理人が選任されていれば管理人あてに送付する。

一般会計6月補正予算を審議

予算特別委員会

～ 6月24日・27日 開催 ～



主な質疑と答弁

問 【結婚サポート事業】

対象者を「婚姻日において夫婦ともに30歳以下であること」とした根拠は。

答

本市における過去5年間の初婚平均年齢に基づいて規定した。また、若い世代の抱く経済的不安を軽減したいと考えたため。

問 【原油・物価高騰緊急対策生活困窮世帯支援事業】

生活保護世帯が対象となっていない理由は。

答

生活保護世帯のほぼすべてが住民税非課税世帯等臨時特別給付金を受給しており、物価上昇による負担増加には対応できると考えられるため。

問 【次世代型地域交通導入推進事業】

オンデマンド型交通における停留所の配置方法は。

答

各行政区の要望、市民の利便性や高齢者の健康維持の観点から検討し、実証実験の中では最大3カ所とした。

問 【シティセールス事業】

銀座にオープン予定の県のアンテナショップと市のアンテナショップとの連携は。

答

イベント情報の共有や同時開催、双方の客がアンテナショップを往来する仕組みづくりなど、それぞれの機能を効率的に活用できるような関係性を築いていきたい。

問 【教育委員会事務局事業】

小中学校のトイレ清掃業務をシルバー人材センターに委託する理由は。

答

児童たちが清掃することによって発生する新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐとともに、地域の高齢者の就労支援につなげるため。

問 【東尋坊再整備事業】

経済効果の見込みは。

答

北陸新幹線開業後から令和10年度までの5年で年間200万人の入り込みを見込んでおり、経済効果は約212億円と試算している。

問 【空き家等対策事業】

空き家バンクの活用状況は。

答

平成23年度の制度開始以来、登録累計は178件で、成約件数は114件、成約率は64%となっている。

問 【農業肥料購入支援事業】

コメとコメ以外の作物での併用は可能か。

答

コメとコメ以外の作物を含む複合経営しているような農業者に対しても、上限の範囲内で補助金を併用することは可能である。

※DX(ディーエックス)…「Digital Transformation(デジタルトランスフォーメーション)」の略称で、デジタル技術によって、ビジネスや社会、生活の形・スタイルを変える(Transformする)こと。

産業建設常任委員会報告



主な質疑内容

産業政策部

問 北陸新幹線開業までの三国海浜自然公園の整備計画は。

答 公園施設を西側から4区分の計画で進め、新幹線開業までには、集客の核となるメイン棟の建設や駐車場の増設に着手したい。

問 鳥獣害の状況およびその被害に対する対策や補償は。

答 令和3年度の農作物被害額は約743万円で、対策としては、猟銃や箱わなによる捕獲をはじめ、防鳥ワイヤーの導入などを行っている。また、あわら市と共同で各研修会の相互参加などを行っている。補償については、農業共済に加入することによる補填制度がある。

問 ゆりの里公園の直売所などの定休日と営業時間をどう考えているのか。

答 今後、生産者や来客者のアンケートなども含め、利用者の目線に沿った営業日・営業時間を検討・協議していく。

建設部

問 道路の消雪設備の整備に関する各地区からの要望状況は。

答 現在、市道は6地区、県道は4地区からの要望があり、今後、路線の選定、整備基準などを整理しながら、必要性の高い箇所から事業を進めていく考えである。

請願・陳情

陳情第3号	食料・農業・地域政策確立に向けた要請	採択
-------	--------------------	----

※意見陳述者を招致し説明を受け審査

<主な意見>

○食料の経済安全保障の考えや、生産者はコロナ禍やウクライナ問題などで苦労していることから賛成。

☆発議第4号にて請願をもとに意見書を提出。

請願第1号	インボイス（適格請求書）制度の中止を求める請願	不採択
-------	-------------------------	-----

※意見陳述者を招致し説明を受け審査

<主な意見>

○消費税額を的確に把握することが必要であり、すべての農家に影響を与えるわけではない。

請願第2号	水田活用の直接支払い交付金の見直しを求める請願	不採択
-------	-------------------------	-----

※意見陳述者を招致し説明を受け審査

<主な意見>

○5年間何もせずに交付金を受け取るのは理解できない。

○災害時には田んぼダムが必要であるため、水田を守ることが重要である。

教育民生常任委員会報告



主な質疑内容

三国病院

問 待遇改善の取り組みは。

答 患者サービス委員会（原則毎月1回程度開催）を設置し、ご意見箱の内容などを検討した回答の一覧を玄関に掲示している。また、待遇の専門家を招いた研修会も開催しており、今後も感染状況をみながら継続したい。

教育委員会

問 物価高騰により、小中学校の給食費の保護者負担が増えることへの対応は。

答 原材料費の値上げによる一月あたり200円の値上げに対し、市が2分の1を負担することで保護者の負担を軽減する。

問 タブレットが破損した際の対応は。

答 市が費用を負担して修繕しており、令和3年度の修繕費用は140万円ほどである。

健康福祉部

問 公立保育園に導入予定の小型除雪機とはどのようなものか。

答 女性保育士でも扱いやすい中型のものであり、シーズン前に操作説明会を開催し、安全運転マニュアルなども各園に配備する。

問 ひきこもりサポート事業の内容は。

答 ※アウトリーチ支援員による自宅への訪問や電話相談による継続的な支援と、社会参加に踏み出そうとする人への居場所の提供の、2つの事業を行っている。

生活環境部

問 丸岡寄附市民参画基金事業において製作する行灯の設置予定は。

答 行灯は50基ほど製作予定で、新町商店街や西側公園に設置を検討している。丸岡エリアの魅力をアップして、情報と資源と人をつないでいくことが目的である。

請願・陳情

請願第3号	保育所等の最低基準（職員配置・施設設備の基準）と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める請願書	不採択
-------	---	-----

※意見陳述者を招致し説明を受け審査

<主な意見>

○最低基準を見直すことで子どもの受入可能人数が減ることや、スペースを増やすなど設備投資が必要となる。

○少子高齢化のなかでは難しいと考える。

○正規職員を増やすなど職員配置の見直しは必要である。

陳情第4号	「すべてのケア労働者の大幅賃上げを求める意見書」の採択を求める陳情書	不採択
-------	------------------------------------	-----

<主な意見>

○月額4万円という金額が非現実的であり、賃上げはケア労働者だけの問題ではない。

○仕事がきつい現場では賃金が高くなければ、ケア労働者が増えていかない。

※アウトリーチ支援員…ひきこもりの状態にある人の自宅を訪問するなど、信頼関係の構築に向けた丁寧な働きかけを行う人。

代表質問

市政のごまごが知りたい!

7月1日、4日、5日の3日間にわたり、各会派の代表による質問と、14人の議員による一般質問が行われました。ここではその要約を掲載しています。

詳細については後日HPに掲載される会議録、YouTube(チャンネル名・福井県坂井市議会)をご覧ください。この文章は各議員が作成しています。

創政会

会長 田中 哲治



住みよい坂井市・活気あふれる坂井市を創るために

問 日常生活での移動手段が公共交通に求められるなか、どのような移動手段を確保していくのか。

答 オンデマンド型交通の市内全域での本格的な運行と、コミュニティバスの基幹ルートを見直すことで、移動手段としての利便性の向上を図り、利用者を増やすよう取り組んでいく。

市民主役の市政運営・健全な財政運営は

問 合併特例債の活用と持続可能な財源基盤の構築について、どのように取り組むのか。

政友会

会長 川畑 孝治



これからの新しい時代に向かって

問 人口減少問題への取り組みは。安全・安心の基盤を整え、福祉医療の政策の質を高め、生活における幸福感も高めたい。市全体の魅力を高め産業の振興を図りたい。

答 少子化問題への取り組みは。結婚サポート、子育て支援対策を充実させたい。

問 高齢化問題への取り組みは。健康づくりの一方で、地域ケアシステムを含め、新たな施策も検討していく。

問 DX社会への取り組みは。対策本部を立ち上げ、住民の利便性向上のために取り組む。

答 機構改革、職員体制の考えは。業務の連携、効率化を進める一方で、職員数の削減は困難である

答 合併特例債は、小学校の大規模改修工事や公共施設の老朽化対策について活用を図る。

また、財源確保に努める一方、基金の有効活用と施策、事務事業の見直しなどを行うことで、持続可能な財政基盤をつくっていききたい。

結婚子育ての希望が叶う社会の実現は

問 国や県が実施する「結婚支援事業」への取り組みと市独自の新たな施策は。

答 国や県の事業は、令和5年度に向けて本市としても積極的に取り組んでいきたい。

市独自の新婚世帯応援事業として、30歳以下の結婚者に10万円の商品券を配る新事業に取り組む。

問 子育て支援の拡充をどのように進めていくのか。

答 令和5年度に保護者に対して二一調査を行う予定であり、調査結果を整理し、国の子育て支援策も注視しながら、子育て環境の整備・施策の推進を図っていききたい。

ため、柔軟な職員体制を目指す。

問 北陸新幹線の敦賀延伸に向けた観光地の整備、PR活動は。

答 県とも連携し、民間と歩調を合わせてハード整備を進め、多様なPR事業、情報発信をする。

問 春江駅の改築、駅周辺整備は。県や並行在来線準備会社と協議し、利用者が満足できるように進めたい。

答 本市の申請書類の受付体制は。支所でも受け取りのできる体制を残している。

問 三国病院のあり方は。

答 役割、機能を明確化し、必要な医療を持続的に提供していくために、改革・改善を検討したい。

問 学校再編についての考えは。

答 現有校を維持継続し、教育環境の整備を進めたい。



▲ 改築が待たれるJR春江駅

創政会

顧問 広瀬 潤一



福祉医療政策の充実

問 福祉ニーズの拡大に対応する保育や、介護従事者の環境の充実は喫緊の課題と考えるが。

答 多くの保育者や介護従事者を確保するため、国や県と連携しながら、労働環境の改善に取り組む、人材確保につなげていきたい。

坂井市ならではの教育振興策は

問 「ふるさと教育」の学習内容を、どのように誇りと愛着(シビックプライド)へとつなげていくのか。

答 ふるさと坂井体験学習推進事業を実施し、子どもたちが農業などの体験を通じ、知識だけでなく、目で見て触れて感じる発見や感動

志政会

会長 古屋 信二



坂井市のランドデザインは

問 新市長が考える本市のランドデザインはどのように描き、発展させていくのか。

答 「笑顔と活気あふれる坂井市」がランドデザインであり、目指すべき姿である。市民をはじめ、さまざまな団体と協働しながら市を良くしていく。また、さまざまな世代の活動、挑戦、夢と希望の実現を応援していきたい。

産業・観光の活性化

問 福井港丸岡インター線や南北道路整備周辺を見据えた企業誘致の考えは。

答 関係機関と連携を図り、積極的につなげていく。また、産業集積を進めるエリア

を味わうことが、本市に対する誇りや愛着につながるものであると考える。

稼げる産業の創出、雪に強いまちづくりの推進

問 丸岡城や東尋坊などにおいて、文化と観光を組み合わせた施策を北陸新幹線の敦賀延伸までにどのように進めていくのか。

答 龍翔館のリニューアルをはじめ、丸岡城では観光情報センターの移転、東尋坊では商店街の景観整備といったことを早期に行っていく。

問 幹線道路の消雪設備を整備し、雪害に強い道路の整備は、どのように行うのか。

答 県道の幹線道路については、必要な箇所の整備を強く県に要望していく。

市道については、通学路で危険が生じる区間や、病院のアクセス道路といった安全性が求められるところを重点的、優先的に考え、整備を進めていきたい。

を都市計画マスタープランに位置づけ、企業立地奨励金制度の拡充も検討していく。

問 通年観光を目指し、冬季の観光誘客にどう取り組むのか。

答 大きな課題であり、東尋坊を含め目玉の施策が必要である。令和4年度に何か施策ができるよう進めていく。

強い農林水産業の実現

問 在来種そばブランド化の推進体制の強化策は。

答 北陸新幹線の敦賀延伸を目前に控え、さらに磨きをかけて、観光客にも満足できるブランド化を進めていきたい。

名誉市民表彰の新設

問 前市長の功績をたたえ、名誉市民第1号として表彰してはどうか。

答 本市の土台をつくった実績をどういう形で表すか、時期を含めて検討していきたい。



▲ 丸岡在来種で打ったおろしそば

定例会審議結果

★6月定例会に提出された議案と議決結果

○…賛成 ×…反対 □…棄権 △…欠席 ……原則採決に参加できない

議案番号	件名	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
		議決結果	林	佐藤	廣瀬	鍋嶋	伊藤	岡部	山田	三宅	後藤	渡辺	前川	上坂	戸板	古屋	田中	佐藤	松本	伊藤	辻	川畑	前田	永井	畑野	廣瀬
議案第29号	雄島小学校校舎大規模改造工事(建築)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	磯部小学校校舎大規模改造工事(建築)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	令和4年度坂井市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	令和4年度坂井市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	坂井市税条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第6号	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第7号	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第8号	公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	インボイス(適格請求書)制度の中止を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第2号	「水田活用の直接支払い交付金」の見直しの中止を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第3号	保育所等の最低基準(職員配置・施設設備の基準)と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情第3号	食料・農業・地域政策確立に向けた要請	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第4号	「すべてのケア労働者の大幅賃上げを求める意見書」の採択を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
発議第4号	食料・農業・地域政策確立に関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24

日本共産党議員団
幹事長 松本 朗



全大候型子どもの遊び場整備を

問 雨天、炎天下などでも子どもが自由に遊べる場が少ないとの声があるため、4町に計画的な整備を。

答 市民アンケートを取るなど、よき施設となるよう準備していくが、4町への整備は将来の財政負担も考慮し、検討していきたい。

介護保険の広域連合解消の検討結果は

問 あわら市と広域連合で行っている介護保険を解消し、市独自に行うことが介護保険、高齢者対策を総合的に行うために有効と考える。

答 前市長は見直す時期にきていると前向きに答弁したがどうか。あわら市が令和4年度から重層

的支援体制整備事業に着手し、施策の目指す方向が同じになるなど状況の変化もあったため、市独自の介護保険は考えていない。

三国競艇管理者報酬の見直しを

問 市長が就いている越前三国競艇企業団の管理者報酬は、令和3年は196万5千円であった。管理者報酬を無くしては、企業団の中で議論していく。

答 企業団に関する越前三国競艇の状況は、令和3年度は196万5千円であった。管理者報酬を無くしては、企業団の中で議論していく。

春江駅舎の建替えと東口改札を

問 駅舎の建替えと東口改札を求めらるがどうか。

答 駅舎整備については、財源確保に関する具体的議論をしている。東口改札は事業規模が大幅に増大するため、既存の地下連絡通路を活用しつつ、利便性向上を図る。



▲ 子どもの遊び場 (越前市中央公園内)

議員とお話しませんか?

議会との意見交換会を希望する団体を募集しています

本市議会では議会基本条例に基づき、議員の政策立案能力の強化および拡大を図るため、さまざまな団体との意見交換会を実施しています。つきましては、下記のとおり意見交換会を希望する団体を募集します。



1 対象

市民グループ、自治会、まちづくり協議会、各種組合、企業など市内に所在し活動する団体

2 開催日時

応募団体の希望する日時をもちに、協議の上決定します。(原則として議会の閉会中に開催します。)

3 開催場所

応募団体の希望する会場で開催します。(会場については応募団体での確保をお願いします。)

4 意見交換会の内容

申込書に記載されたテーマに基づき意見交換会を行います。(時間はおおむね1時間30分までとします。)

5 参加する議員

議会報告委員を中心に、テーマ・地域・規模などを鑑みて選出します。

6 応募方法

申込書に必要事項を記載して議会事務局へご提出ください。FAX・メールでもお受けいたします。様式は本市議会のホームページに掲載してあります。

7 その他

- 開催の可否については議会報告委員会で協議し決定します。応募されたテーマの内容、時期によっては、お受けできない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 開催方法などの詳細については、議会報告委員会と応募団体で協議させていただきます。
- 開催された意見交換会の内容は、後日議会だよりや市議会ホームページなどで記事にさせていただきます。



令和4年度 一般会計6月補正予算概要

補正額 **20億7,444万円** (補正後の額 415億5,774万円)

主な事業

◆結婚サポート事業 2,727万円
本市で暮らす新婚世帯に対し、市内で使用できる商品券の交付に係る委託料の増額。

◆農業肥料購入支援事業 1億4,700万円
農業者に対する肥料購入の支援に係る経費の計上。

◆次世代型地域交通導入推進事業 3,651万円
オンデマンド型交通の市内全域での本格運行に係る経費の計上。

◆東尋坊再整備事業 1億9,427万円
「東尋坊再整備基本計画」に基づく駐車場の一元化や交通ステーションの整備に係る経費の増額。

◆行政区事務事業 949万円
市公式LINEアカウントを用いた市民への行政文書配付、および自治会回覧板デジタル化アプリの構築に係る委託料の増額。

◆商工事務事業 2億9,850万円
キャッシュレスキャンペーン事業の実施、および中小企業者の経営革新やビジネスマッチングに対する取り組みへの支援に係る経費の増額。

不登校対策支援員の配置を

問 不登校やその傾向にある児童生徒を支援するため、登校支援や学習支援などを行う不登校支援員を、市内小中学校に配置すべきと考えるが見解は。

答 専門的な知識を有し、個別への配慮が必要なエキスパートとしての人材をどれだけ確保できるか、他市町の配置状況などを考慮しながら今後考えていきたい。

誰一人取り残さないDX行政を

問 DX行政を推進させることによって期待される効果は。

答 デジタル技術の活用により、市民の利便性向上やニーズに合ったサービスの提供が可能になる。

また、DX推進による業務改善に取り組むことで、人口減少や少子高齢化などに対応できる行政に生まれ、安定的な社会を実現させていくことが期待される。

問 高齢者などのデジタル弱者が、行政のデジタル化から取り残されないための方策を検討しているか。

答 スマートフォン利用に不安のある



辻 人志

る高齢者を対象として、端末の操作やアプリの使い方などの体験会や、使い方講座を行って、高齢者のデジタルに対する不安解消と利用促進に取り組んでいる。

この事業を継続して行うことによって、高齢者のデジタルデバイス（情報格差）の解消を図り、デジタル化によるメリットを享受できる社会の形成を目指したい。



▲高齢者に対するスマートフォン利用講座の様子

任期4年、池田市長の基本的な政治姿勢を尋ねる

問 「チームさかい」7つの政策にも掲げている市民主役の市政運営で目指すものは何か。

答 市民主役、行政のやる事柄がいかに市民の役に立つかということが一番重要ではないかと思っております。

市民の幸せのために我々としてどういったことができるのか、市民の困りごと、不便、不満、不安をいかにしてどう取り除くかということが、公共の役割であり、行政にとって一番大きな役割であると思っております。

問 池田カラーという意味では、どのような言葉で例えられるか。

答 常々心がけていることは、「挑戦と協働」、別な表現だと、「チャレンジ」と「チームワーク」、これを大事に心がけていきたい。

行政の挑戦もそうであり、民間の挑戦を応援する事柄も含まれる。議会と行政、市役所が一体となって進めれば大きな仕事もできる。

問 市職員に求めるあるべき姿、また人材育成についてはどう考えるか。



▲坂井市から品川区に贈られたユリの花(令和4年5月31日)



鍋嶋 邦広

挑戦と協働、さらに笑顔、この3つのキーワードで進めていきたいと考えている。

職員には、とにかく明るく元気に前向きに笑顔で職務に当たってほしいと、常々伝えている。

チームワークを大切に、市役所全体でも若い職員の役に立てるような上司、先輩になってもらいたい。

若い職員には、市民の役に立つよう心がけてほしい。

丸岡城周辺整備計画はどうなるのか

問 一筆啓上茶屋の移転予定場所が内堀の跡地であるため、丸岡城天守の国宝化に悪影響を及ぼすと心配する声がある。

市長は文化庁とその点についての意見交換をしているが、文化庁担当官の意見をどう理解したのか。

答 丸岡城周辺のにぎわいづくりと国宝化を両面で進めていく考え方を説明した。

今回の移転をもって国宝化がだめにならないことは確認できた。

問 丸岡城の周辺整備にあつては、金沢城の整備のように堀や門、御殿の復元をし、文化的価値を高めることが求められると考えられる。

丸岡城の復元を着実に進めるため、財源の確保を求めてきたが、歴史的風致維持向上計画と丸岡城保存活用計画において、長期での財源確保はできたのか。

答 歴史的風致を形成する文化財の周辺市街地を重点区域に設定することにより、歴史資源の復元をはじめ、幅広い事業に取り組みることができることも、国の補助率のかさ上げがされる。



伊藤 聖一

それぞれの計画に基づき、国の財政支援を受けながら街並みの整備と文化財の保存活用を進めたい。

丸岡城の城郭においては、まさに金沢城と同様なことを行っていく考えである。

問 一筆啓上茶屋移転の時期はいつになるのか。

答 北陸新幹線の敦賀延伸までに確実に新しい場所に移転完了したい。

5年10年のスパンでどこをどう進めるかはつきり整理した上で、整備計画を進めていきたい。



▲移転を予定している一筆啓上茶屋

家庭用防犯カメラ設置購入の助成を

問 地域の安心安全、自助共助に役立つ防犯カメラの助成をしては。

答 犯罪防止や事件解決に有効と認知され、問い合わせも増えていることから、他市町の事例も参考にしながら検討したい。

公共施設に無料WiFi案内を

問 来場者数の多い公共施設で、無料WiFiが整備されているのに利用を促す案内がないのはなぜか。

答 当初は案内を掲示していたが、利用者のマナーなどの問題もあり、現在は施設管理者の判断で案内をしていない。

問 誘客にはSNSでの発信が効果的であるため、施設のWiFi利用を促すべきでは。

答 指定管理者に施設のあり方も含めた通信環境の指導を行いながら、よりよい環境を提供できるように検討していく。

全天候型子ども遊び場整備を

問 猛暑や豪雨に見舞われるなか、市民が我慢できる施設の整備を。



▲にぎわいが期待される三国駅広場



山田 秀樹

問 場所の選定や規模、整備後の運営など課題はあるが、整備に向けて取り組んでいきたい。

新三国駅広場と駐車場問題

問 広場の今後の活用は。

答 地域交流、地域活動、イベント利用に整備したもので、活動予定も聞いており、市として協力する。減免規定もあり相談してほしい。

問 観光バスの駐車場利用は。

答 検討したが安全面を考慮し、観光客の乗降には乗合いバス用ロータリーを利用してもらう。

今後の介護予防事業は

問 介護予防拠点施設で実施されている地域介護予防活動事業が総合事業に移行されたことで、利用回数が週1回に制限されたが、施設の機能を損なうのではないかと心配している。

答 総合事業として、要支援1相当の利用者が週に複数回利用することとは制度上できない。

問 施設の利用がない日に市単独での介護予防事業はできないのか。

答 事業を受託しているNPOが、自主的に高齢者を集めていく方向にもっていきたい。

問 通いの場事業と地域サロンを一体化し、社会福祉協議会に委託するようになった理由は。

答 通いの場事業と地域サロンの共通の目的として社会参加があることから、地域サロンの実績があり、地域福祉関係者との信頼関係が深い社会福祉協議会に委託した。

問 介護事業を担うスタッフ、ボランティアの育成が必要では。

答 地域の担い手となりえる人材として、フレイルサポーター、音楽、いきいき教室ボランティア、認知



戸板 進

症サポーターなどを育成している。

問 フレイルチェック後のケアプラン作成が必要では。

答 参加者自身が生活習慣を振り返り、継続して取り組むためのプランを作成することはとても重要であるため、今後は作成支援も行いながら、フレイル予防の継続を推進していく。



▲市内にある介護予防拠点施設

小規模農家への支援充実を

問 小規模農家の離農が増えているが、本市における休耕田の状況はどのように推移しているのか。

答 作付を行っていない水田は、平成29年度から令和3年度にかけて26・6ha増加している。

問 離農の状況はどうか。

答 農業者の数は平成29年度から令和3年度にかけて265件減少しているが、それら経営農地の多くは大規模農家に集積されている。

問 中山間地を中心に離農して休耕田になる事例が多いと聞くが、本市としても小規模農家が営農を諦めないために、市独自の支援策が必要ではないか。

答 まずは県の小規模農家に対する支援制度を周知し、県と連携しながら生産振興を図っていききたい。市独自の支援策については、対象となる事業体に応じた施策の展開や、他の産業界とのバランスなどの議論が必要であると考えている。

移動投票車の導入を

問 令和3年の衆議院議員選挙から投票所の数を見直したが、移動投



▲勝山市の移動投票車



伊藤 宏実

票車の導入について検討すべきではないか。

答 現在、導入は検討していないが、交通弱者への対応として、遠隔地の臨時投票所の設置や、コミュニティバスの無料券を配布して期日前投票への誘導を図っている。今後、デマンド型の交通を無料で利用できるようにするなどといった施策も検討していきたい。

移住定住を促進するため移住専門部署の設置を

問 県内では、令和3年度の移住者が過去最多の1,018人であったが、本市はどうか。

答 令和2年度は、64人、令和3年度は58人で6人減となった。

問 県全体から見ると本市の移住者が少ないように感じるが、今後の取り組みを伺う。

答 坂井市というブランドも含め本市の知名度を高めることが移住政策の柱になると考える。

問 本市も人口減少に拍車がかかっている状況でありその対策は急務である。

答 子育て環境の良さをアピールし、移住につながる施策をどのように考えているか。

答 現在、移住支援サイトSAKAI I-TURNSで移住応援策を紹介している。

子育てするなら坂井市、親になるなら坂井市のスローガンの下、さらなる施策の検討を進める。



廣瀬 陽子

問 移住専門の担当部署を設置してはどうか。

答 現在はDMOさかい観光局と企画政策課が窓口となり、庁内全体の連携を図っている。

DMOさかい観光局は土日の対応や地域とのパイプ役として、移住後のアフターフォローを行っている。他県の事例などを参考に、どのような体制が良いか検討したい。



▲自然の中で遊ぶ親子

豊原寺の歴史を活かしたまちづくりを計画的に進めること

問 赤色立体図のデータシステムの申請を県に求め、豊原寺の遺構などの調査を進めては。

答 すでに所有しており、豊原寺跡についても活用している。

問 豊原の調査については、規模的に大きいことから、国や県と相談しながら、慎重に進めていきたい。

答 調査などの報告も含め、講演会の実施などをして市民への興味・関心を深めていく。

問 豊原史跡保存会や関係団体などと、方法などについて相談しながら取り組んでいく。

答 発掘調査などの状況を踏まえながら、必要性を含め、幅広く議論していく。

市内道路の消雪設備の整備を

問 学校周辺や通学路など市民の声を聞いて、市内道路の消雪設備の整備を。

答 冬季の道路交通の安全性や社会的環境などを勘案し、整備を進め



▲豊原寺跡(六地藏と豊原三千坊跡の碑)



畑野麻美子

問 県道の一部や病院などがあるところについて、県に働きかけては。

答 消雪設備の必要な箇所について、県に強く働きかけていく。

全天候型遊び場の整備を

問 全天候型遊び場整備の具体的な計画と実現を。

答 課題は多いが、市民が喜ぶ施設となるよう、整備に向けて取り組んでいく。

都市公園の今後のあり方は

問 都市公園の管理・運営の現状は。市内に公園は291カ所あり、都市公園は82カ所、その他の公園は209カ所である。

答 都市公園は市が管理しており、その他の公園は地元集落と管理協定を結んでいる。

問 公園にある遊具の状況は。

答 令和3年度の調査では、市内に670カ所の遊具があり、使用禁止など危険性が高い状態のものが8件、緊急性はないが修繕などの対策が必要なものは190カ所あった。

問 令和4年度以降に点検結果に基づき修繕を行っている。

答 補正予算に三国運動公園の遊具改修工事が計上されているが、インクルーシブな公園・遊具に対する考えは。

問 健康者、障がい者が共生でき、幼児・児童が使える遊具だけでなく、大人が使える健康遊具もニーズがあると考えている。

答 今後の都市公園の再整備や活用は。

問 都市公園法の改正により規制が



三宅小百合

緩和されたことか

ら、今までの公園の利用をもっと良好にしている可能性があると考えている。

問 新市長の公園活用の考え方は。

答 大きい公園、小さい公園それぞれの利用価値・形態はさまざまであり、地域住民やまちづくり協議会も含め、いろいろな意見を聞きながら整備に向けて検討したい。



▲活用が期待される三国中央公園

市民の安全安心な暮らしを守るための雪害対策の取り組み

問 幹線道路の消雪設備はどのような方法で整備していくのか。

答 堆雪場所、押し出し場所の確保が困難な区間や学校などの通学路で危険が生じる区間、救急指定病院のアクセス道路といった冬季の道路交通の安全性や社会的環境を勘案し整備を進めていく。

問 農業用水パイプラインを利用した融雪消雪工を整備する考えは。

答 水利権の取得など大きな課題があるが、今後は、費用対効果を見極めながら、実現可能かどうか検討する。

問 冬期間における通学支援の距離基準を見直す考えは。

答 現在のところ、距離基準の見直しは考えていないが、今後とも、学校や保護者、地域と協力しながら、安心、安全な通学支援に努めていく。

問 地域における「共助」を確立するため、農村地区の生活道路の除雪について集落営農組織や認定農業者からの協力を得るため、補助制度の拡充を図ってはどうか。

答 今後、二丁ズや補助金の上限額について前向きに検討していく。



▲2018年の大雪時の除雪状況

坂井市水道事業経営戦略の取り組み



岡部 恭典

問 経営戦略を策定してから今日までの取り組みと今後の予定は。

答 新型コロナウイルス感染症の拡大や社会情勢を踏まえ、料金改定の準備作業を延期している。令和4年秋には、上下水道料金改定検討委員会を設置し検討を始める。

市独自のプレミアム婚姻届を

問 坂井市独自のプレミアムな婚姻届を作ることで、本市で購入し本市に訪れるきっかけができるのではないかと。

答 令和4年度、庁内で職員自らが政策提案に取り組みチームを立ち上げた。

問 その中でプレミアム婚姻届などの提案を一つのアイデアとして議論していきながら、「結婚するから坂井市」を目指していきたい。

答 婚姻届の提出時、記念写真の撮影スペースを設置できないのか。

問 婚姻届を提出した際に、夫婦になる2人の門出を祝福し、思い出に残るような演出ができるのではないかと考える。

答 今後、設置場所などを含め検討していく。

三国運動公園の再整備を

問 公園入り口付近の雑木林の伐採や街灯の設置など、周辺環境整備をするべきかと考えるがどうか。



▲東京都立川市のプレミアム婚姻届 (バーコードを読み取ると紹介サイトにアクセスできます)



後藤 寿和

うっそうとした状態であるため、近隣住民からも意見があった。

答 令和2年度からは樹木の計画的な伐採・剪定を実施しており、日が差し込む明るい空間となるよう改善に努めている。

問 また、街灯については夜間の安全安心の確保の観点からも、必要な箇所には適宜増設したいと考えている。

坂井市で小麦栽培を

問 国の国産小麦の生産拡大の後押しのもと、本市においても小麦の生産に必要な営農技術、栽培環境の醸成や小麦の消費拡大を図るため、産官学の連携組織を設置することはできないか。

答 本市における小麦の生産には、先に品種の選定を行う必要があるが、令和4年度も県で品種の適正試験を行っている段階であるため、時間を要する。

問 本市としては、小麦の生産に必要な情報の蓄積を図り、産官学の連携も考慮しながら、推進に向けた取り組みにつなげていきたいのか、検討・協議していきたい。

みんなが楽しめる音楽フェスの実現に向けて

問 開催を間近に控えた本市初の音楽フェスを魅力的なものにするために、同時に食のイベントや本市の伝統文化を知る、体験できるイベントを企画することはできないか。

答 音楽フェスは全国から音楽ファンが集まるイベントであり、本市



佐藤 岳之

の魅力伝える絶好の機会である。

答 初めての試みであるため、まずは音楽フェスとして成功させることに力を注ぎたい。

問 飲食ブースで本市の食材を積極的に使用したり、関係団体や民間の力を借りながら、本市をPRできる方策を検討していきたい。



▲本市で試験栽培された小麦(坂井町福島地係)

あなたの写真で、坂井市の魅力を伝えてみませんか？
議会広報の表紙写真を大募集！

発行部数約3万部、市内全世帯に配布される議会広報紙の表紙写真を募集します。発行月は、5月、8月、11月、2月です。季節感あふれる、あなたが撮影した奇跡の1枚をお待ちしています。

- 応募資格** 市内在住、または在勤・在学している人
応募期間 希望掲載月の前月第1月曜日まで
応募要件 ・市内で撮影したもの（概ね1年以内で未発表のもの）
 ・写真は、縦長で撮影された3MB以上の画像データ（JPG、JPEG形式等）
注意事項 ・応募者以外に被写体となっている人の承諾を必ず得てください。承諾を得ていなかった場合のクレーム・トラブルなどについては、一切の責任を負いかねます。なお、個人の所有物に関しても、同様とします。
 ・応募された写真は、無償で市議会が使用することに承諾したものとします。また、サイズ調整等のため加工を行うことがあります。
 ・選考は市議会広報編集委員会で行います。なお、審査内容についてはお答えできません。
応募方法 ①撮影者の氏名（掲載時に使用、ペンネーム可）、②住所、③電話番号、④掲載希望月、⑤撮影年月、⑥撮影場所、⑦写真の説明を記入し、写真データを添付して、メールで下記アドレスまで送付してください。
問い合わせ 議会事務局 TEL：0776-50-3001
 MAIL：gikai.fukui.sakai@gmail.com

今号の表紙

今号の表紙はいぶぶさんの撮影作品です。



撮影場所 越前松島水族館

撮影者のコメント

松島水族館で初めて見るお魚の世界。海の中にいる様な水槽で、ボクちゃんは初めて泳いだみたいになったかな？



Check!

スマートフォンでこのバーコードを読み込むと、宛先が入った状態でメールアドレスが起動します。

各分野の担い手不足問題は

問 将来を担う若者に活気をもたらしたいという考えだが、具体的な方策は。

答 現在、さかい未来創造座談会を各地区で開催する準備を進めており、各地区に直接出向いて若者との意見交換をしながら、将来を担う若者をしつかり応援していきたい。

問 消防団やまちづくり協議会などの各種団体の担い手不足について、どのような対策を考えているのか。

答 まちづくり協議会においては、まちづくりの担い手を育成するため、市民協働の学び舎「まちづくりカレッジSakai」を開講している。

問 祭りや伝統文化などの無形民俗文化財の担い手不足について、どのような対策を考えているのか。



▲まちづくりカレッジSakaiの様子



林 豊夏

答 現在、無形民俗文化財の保存、継承を目的に補助金を交付している。

また、市民にも無形民俗文化財の活動を知ってもらうため、公開日時や内容などを市のホームページにも掲載している。

市長の考える教育振興策とは

問 市長は本市ならではの教育振興策を掲げているが、所見を伺う。

答 平和な世の中をつくっていくために、何よりも教育の問題、人づくりの問題が重要である。

心の根っここのところをいかにしっかりとするか、つらいことがあっても耐えられるか、ということこそを教育の中で伝えていってほしい。

人間で一番大切なことはあいさつができることであり、さらに、人への感謝の気持ちが大事だと考える。

その上で、これから次世代で活躍できる子どもたちへの教育支援をしていきたい。

市民のための事業展開を

問 重層的支援体制整備事業は、「断らない相談」「寄り添う相談」であり、市民にとって大事な事業であるが、事業名が重たく分かりにくい。

市民に気軽に使ってもらおう事業



永井 純一

名を考え、周知を図ってはどうか。

答 「ここサポ」の愛称で展開する。「ここ」の意味合いは、どのような相談もここでサポートをする、一人一人の個々に応じたサポートをする、という2つの意味を込めている。

広報さかい、ホームページ、SNSなどを活用して周知を図り、身近で相談しやすい環境を作る。

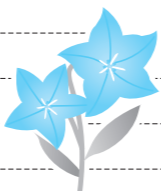


▲「ここサポ」のロゴマーク

議会を傍聴してみませんか

★9月定例会会期日程（予定） ※日程は、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承願います。

9月9日(金)10時～	本会議(行政報告・議案説明など)
20日(火)・21日(水)10時～	本会議(一般質問)
26日(月)10時～	産業建設常任委員会
27日(火)10時～	教育民生常任委員会
28日(水)10時～	総務常任委員会
10月4日(火)10時～	本会議(委員長報告・採決など)



編集後記

かまびすしい蝉の鳴き声から、静かな秋の虫の鳴き声へと変わってきました。

そういった虫たちの鳴き声の変化の中で、季節の移ろいを感じるとともに、改めて四季の移り変わりに感じられる「日本」に生まれてきたことを幸せに感じます。

我々議員は4月の選挙を経て新しい議会となり、今回が改選後初の発行となります。「わかりやすい、読みやすい」内容をお伝えできるよう、取り組んで行く所存です。よろしくお願いたします。

(渡辺)



▲広報編集委員会



坂井市議会 令和4年9月 第5回定例会

開催期間 令和4年9月9日～10月4日

会議日程

9月 9日(金) 本会議(初日)	9月26日(月) 産業建設常任委員会
9月20日(火) 一般質問(1日目)	9月27日(火) 教育民生常任委員会
9月21日(水) 一般質問(2日目)	9月28日(水) 総務常任委員会
	10月 4日(火) 本会議(最終日)

・日程については
議会ホームページ
でもご覧いただけます
・各議員の一般質問と
代表質問は
後日YouTubeで
配信されます



▲議会ホームページ



▲YouTubeチャンネル